



北から南から ~各地区の活動~

交通安全協会は交通事故をなくすための幅広い活動を行っております。

私たち約4,000人のボランティア活動は皆様の会費で支えられています。悲惨な交通事故を1件でもなくすため、私たちの活動にご協力をお願いします。

- 交通安全の広報啓発活動
- 交通安全イベント・フェスタ等の開催
- 幼児から高齢者まで対象の交通安全指導
- 新入園児、新入学児童への交通安全教材等の提供
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設【電話・面接(弁護士等)相談】

わたしは三重県交通安全協会のシンボルマスコット“ストップビー”です



止まってくれた車両へ“ありがとう”の一言を伝えています。

停止線の手前で確実に止まりましょう。



安全対策課

まもってくれてありがとう横断旗贈呈

自動車に乗ったら、チャイルドシートに正しく座りましょう。



亀山地区

保育園でのチャイルドシート着用指導



いなべ地区

小学校での自転車交通安全教室

自転車の前輪にも反射材を取り付けます。



名張地区

自転車安全対策強化日(S・Bデー)の活動

私たち三重県交通安全協会は

悲惨な交通事故を1件でもなくしたい!そんな思いで活動をしています

悲惨な交通事故から県民一人ひとりの命を守りたい。これは私たちが願う切実な願いです。私たち三重県交通安全協会は一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの命を守るための活動をボランティアの方々と日々行っています。



(一財)全日本交通安全協会作成による交通ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマークです。

(一財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2021 / 早春号 No.221

発行所

(一財)三重県交通安全協会

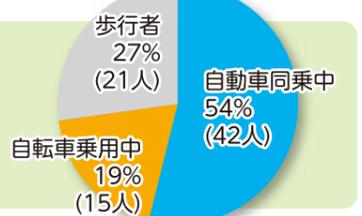
三重県交通安全活動推進センター
(三重県公安委員会指定)

〒514-0004 津市栄町1-954
三重県栄町庁舎5F
TEL 059-228-9636
URL <http://www.mie-anky.com/>



令和2年中
三重県内(小学生)の
状態別死傷者数

死者数	0人
負傷者数	78人



新入学児童を交通事故から守りましょう

4月は新入学(園)児の皆さんが入学する季節です。「子ども一人」で行動する機会が増えてきますが、交通の知識や交通社会での実体験の経験は少なく、事故を回避する行動はまだ不十分です。朝・夕の通学時間帯に車を運転される皆さんは、黄色の帽子やランドセルカバーを身につけた“新入学児童”を見かけたら、児童の動きを確認し、速度を落とすなど“思いやりをもった運転”に努めましょう。

このランドセルカバーは、蛍光黄色で雨天や薄暮時にも視認性が高く、交通事故防止に役立つものと期待されています。入学のお祝いの気持ちと交通安全への願いを込め、交通安全協会会員の会費により製作し、毎年新1年生に寄贈しています。

現在、三重県交通安全協会では「まもってくれてありがとう運動」を推進しています。道路を横断する歩行者が、とまってくれた運転者に「ありがとう」という気持ちを表すことで、運転者が「また、次も止まろう」と思うこと。そして、子どもたちが運転者になった時、自分も歩行者に優しくありたいと思う気持ちを育てたい。やがてその輪が広がり歩行者に優しい交通事故のない三重県にしていきたい!そんな思いから県内全域で「まもってくれてありがとう運動」を積極的に取り組んでいます。



春の全国交通安全運動

令和3年 4月6日(火)~15日(木)

運動の重点

- 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- 自転車の安全利用の推進
- 歩行者等の保護を始めとする安全運転意識の向上

4月10日☺は「交通事故死ゼロを目指す日」です



交通安全協会の活動は、会員の皆様からのご支援・ご協力により支えられています。

新入学児童・園児への交通安全教材の贈呈

(一社)日本自動車販売協会連合会三重県支部、三重県軽自動車協会、三重県自動車会議所と(一財)三重県交通安全協会の4団体は、令和3年2月18日(木)子どもの交通事故防止に役立ててもらおうと県内の新入学児童・園児約30,100人に配布する「こうつうあんぜんワークブック」と「こうつうあんぜんぬりえ」を贈呈しました。

「こうつうあんぜんワークブック」と「こうつうあんぜんぬりえ」は、県内各地区交通安全協会から各市町の教育委員会を通じて子どもたちに贈られます。



令和2年度 交通栄誉章等の受賞

受章(賞)者の皆さまおめでとうございます

- 交通栄誉章**
- ◆緑十字金章〔交通安全功労者〕
 - 前田 廣行 (鳥羽)
 - 松田 玉江 (伊賀)
 - ◆緑十字銀章〔交通安全功労者〕
 - 水谷 峰子 (桑名)
 - 川島 欣弘 (四日市南)
 - 若林 一宏 (亀山)
 - 仙田 学 (鈴鹿)
 - 谷口 實 (津)
 - 出崎 豊 (伊勢)
 - 高橋 克弥 (大台)
 - 古古 勝彦 (尾鷲)
 - 桂 昇三 (伊賀)
 - ◆緑十字銀章〔優良安全運転管理者〕
 - 長東 吉明 (松阪)
- 優良団体等表彰**
- ◆交通安全優良団体
 - 木曾岬町老人クラブ連合会 (桑名)
 - ◆交通安全優良学校
 - 尾鷲市立尾鷲中学校 (尾鷲)
 - ◆優良交通安全協会
 - 紀宝地区交通安全協会 (紀宝)
 - ◆交通安全優良事業所
 - 株式会社中村組 (四日市北)
 - 勢和建設株式会社 (津南)
 - ◆優良安全運転管理者協議会
 - 津南安全運転管理協議会 (津南)

警察庁長官と一般財団法人全日本交通安全協会会長による令和2年度の交通栄誉章「緑十字金章」および「緑十字銀章」などが決定されました。

この表彰は、多年にわたって交通安全に尽力された功労者や優良運転者、交通事故防止に熱心に取り組んでくれた団体などに授与されるものです。

三重県で受賞された皆様(個人及び団体)は次のとおりです。永年のご努力とご功績に敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

(敬称略)

会員の店2020

交通安全協会協賛店では、各種のサービス特典を提供しています。

対象は交通安全協会会員証(有効のある)をお持ちの方です。

詳しい情報はパソコンやスマートフォンから検索してください。



会員の店

スマートフォンからバーコード読み取り
<http://www.mie-ankyousei.com/>
<http://www.mie-ankyousei.com/pc/default.aspx>

新協賛店様紹介

- 桑名地区 呑処喰処 泉
- 亀山地区 キャンドルショップ亀山店
キャンドルショップオアシス店
株式会社プランニング・ネット
- 大台地区 魚々錦会

みえあんきょうプレゼント こうつうあんぜんクイズ

◆もんだい

次の標識の意味について正しいものはどれですか？

- ① この先に交通公園があります。
- ② この先に駅があります。
- ③ この先に踏切がありますので、注意してください。



◆応募要領

クイズの答えと応募者の住所、氏名、年齢、連絡先をハガキに書いて
 〒514-0004 津市栄町1丁目954
 三重県栄町庁舎内5F (一財)三重県交通安全協会
 へご応募ください。

※正解者の中から抽選で5名様に上記の景品をプレゼント。
 当選者は商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

応募締め切り2021年5月末日必着

※「解答」は盛夏号に掲載します

●新年号 クイズ正解



② 車両は入ってはいけません。

新入学(園)児の交通事故防止

～新入学(園)児を交通事故から守るために～



ドライバーのみなさん

子どもの歩行中の事故で多いのは「飛び出し」です。

子どもは一つのことに注意が向くと、周りのことが目に入らなくなります。転がったボールなどを追いかけて、車道へ飛び出してしまうことがあります。住宅街や小学校・公園の近くで子どもを見かけたときは、徐行や一時停止をするとともに、子どもの動きに注意して不意の行動にも対応できるよう思いやりを持った運転に努めましょう。



横断歩道は歩行者優先です。

特に信号機のない横断歩道を渡ろうとする幼児、児童を認めた場合、横断歩道の手前で必ず停止し、道を譲りましょう。



小さな子どもに一人歩きをさせず、保護・監督を!

子どもは、安全を確認する力が十分でなく、交通事故に遭いやすいことから、保護者等は、交通の頻繁な道路、踏切やその付近で子どもを遊ばせたり、保護者等が付き添わないでひとり歩きをさせてはならないことが、道路交通法で定められています。(道交法第14条(3))

◆一緒に歩くときは、できるだけ子どもの手を握り、大人が車道側を歩きましょう。



保護者のみなさん

子どもの理解力に合わせた、交通安全の指導・教育を!

子どもは、「危ない」「注意しなさい」というあいまいな言葉だけでは、よく理解ができません。入学(園)までに、子どもと一緒に通学路や自宅付近を一緒に歩き、子どもの目線で危険箇所を確認し、実際の場面で立ち止まる位置や見る方向などを、具体的に教えましょう。

信号機のある横断歩道まで行って、信号が青になったらよく見て渡ろうね

◆保護者自身が、日頃から安全な行動の手本を示しましょう。



自転車は車のなかまでです。

子どもが、交通ルールや安全な乗り方をしっかり覚えるまでは、大人が見守る中で自転車に乗せるようにしましょう。

保護者は児童や幼児(13歳未満)を自転車に乗車させるには、乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。保護者の自転車に、幼児を同乗させる場合も同様です。自転車は車両の一種であり、車と同じように交通ルールを守る必要があることを理解させましょう。



自転車に乗るときは

◆ヘルメットを正しく着用させましょう。

◆大人がつきそい、公園などでブレーキをしっかりきかせられるなど運転操作の練習を行いましょう。



自動車同乗中に最も多く事故にあっています。

子ども(小学生以下)の事故は、自動車同乗中に最も多く発生しています。万が一の事故のとき、ただ座っているだけでは、車内のシートにぶつかったり、車外に投げ出される危険があります。

子どもが車に同乗するときは、子どもの体格にあったチャイルドシートやジュニアシートを正しく着用させましょう。

また、車に乗るときは歩道側のドアから行き、先に子どもを乗せ、降りるときは保護者が先に降りましょう。



車に同乗するとき

◆6歳未満の子どもには、チャイルドシートを正しく着用させましょう。

◆後部座席を含めた全ての座席でシートベルトを必ず着用しましょう。